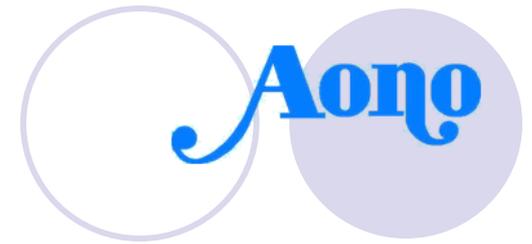


● 学会発表（日本薬剤師会学術大会）



- 2018年 第51回 石川県 金沢で開催 ポスター発表
「なぜ薬局が医療機関へ様々な情報提供を求めるのか」
「癌患者の在宅医療における他職種との情報共有の必要性について」
- 2019年 第52回 山口県 下関で開催 口頭発表
「チームで取り組む在宅医療」
- 2020年 第53回 北海道 札幌で開催 口頭発表
「在宅医療における多職種連携のポイントについて」
ポスター発表 「患者アンケートを用いたGE医薬品推進策の研究」
- 2021年 第54回 福岡県 博多で開催 コロナの為、WEB開催 WEB発表
「在宅医療における多職種連携と薬」
- 2022年 第55回 宮城県 仙台で開催 口頭発表
「リフィル処方箋の対応事例に関する報告」
「在宅医療における初回訪問前の情報収集の重要性について」
ポスター発表 「在宅医療における麻薬持続皮下注の活用」
- 2023年 第56回 和歌山県 和歌山で開催 口頭発表
「在宅医療における初回訪問前の情報収集の重要性について」
- 2024年 第57回 埼玉県 大宮で開催 口頭発表
「来客対応にて使用可能な英語資材の作成と従業員への資材活用術の共有」
「在宅医療での医療用麻薬の使用例」
ポスター発表 「薬剤耐性防止に向けたバッジによる啓蒙活動の実態調査」
- 2025年 第58回 京都府 京都で開催 口頭発表
「地域医療機関と連携し、TPN患者がスムーズに在宅中心静脈栄養に移行した一例」
「病院、訪問診療医、薬局の連携により外来がん化学療法における副作用軽減に努めた1例」
「精神科治療薬の副作用と生活習慣の関連性」
「オーバードーズを含む薬物乱用防止教室に関する報告」
「地域薬局の算定要件充足に向けた地域薬剤師会の実践的取り組み」
「多職種連携を強化するPCAポンプ使用状況確認表の活用」
「外国人患者対応の質向上に向けた英語資材・翻訳アプリの活用とその取り組み
の紹介～日本人患者への対応と同等の質を目指して～」